

尚友会だより

号外

発行所：学校法人 金蘭千里学園 尚友会

2015年 4月発行

次の50年に向けて、本校教育の在り方について — 卒業生が誇れる教育の実現 —

学校法人 金蘭千里学園 理事長
金蘭千里中学校、高等学校 校長
辻本 賢

尚友会の皆さま、いかがお過ごしですか。

既にお知らせしましたように、平成27年度は創立50周年を迎えます。

金蘭千里中学校、高等学校は、生徒が将来の仕事を選択し、その仕事を通して社会に貢献することができる学力と人格を高め、人間として成長していくことを目的とします。

本校は、その明確な教育方針により、北摂に金蘭千里有りと評価されています。その評価は、卒業生徒や在校生徒の皆さんの誇るべき「心の才能である素直さ」が結実したものであると言えるでしょう。

金蘭千里の建学の精神

金蘭千里は、建学の精神「塾（教員の資質の向上）・道場（生徒の学習意欲）」・「スポーツをする（校技男子サッカー、女子バレーボール）」・「自然に親しむ（野外活動、徒歩訓練）」を軸とした学校運営を、ハイレベル、ハイクオリティな教育の提供に努めて、人生設計に資する総合的な人間力の育成を図るために、いろいろな視点から改革を実施しています。

昨今の、学力の低下、規範意識の希薄化、自己統制力の未熟さという劣悪な教育環境において、本校の建学の精神を維持できていることは、保護者の皆さまのご理解とご協力によるものであります。

平成26年度の位置づけ

平成26年度で創立50年目を満了し、平成27年度は、次の50年に向かいます。これを機に、建学の精神を堅持して、平成26年度を、総合的な人間力の育成＝コミュニケーション能力の育成を目的として、それに資する学校作りへの出発点として位置付けました。

金蘭千里の教育のコア

本校教育の中核である授業は、学習指導、生徒指導、進

路指導からなり、教員の教育力の向上、生徒の学習意欲によりその効果を上げます。そのためのカリキュラムを50年かけて磨き上げてきました。授業は、予習、授業、復習、20分テストのサイクルで基礎的生活習慣を形成するものです。学習は、20分テストの結果により、授業へのフィードバック、追試、補習により完成されます。20分テストが、金蘭千里の大学進学の高い実績に大きく寄与していることを再確認し、一層の適切な進路指導を強化します。

平成26年度から実施される改革のコンセプト

50年を経た幹に、枝葉を茂らせ、さらに幹をしっかりとしたものになければなりません。

今後、実施される諸改革は、本校教育の基本的な枠組みの中で位置付けられ、精選され、洗練されているものでなければなりません。学習意欲を削ぐような、安易に流れるものでなく、負荷をかけることを重視します。自主性の涵養は、その目的の達成のためには、教員の高い指導力が不可欠であることを認識することが肝要です。

平成26年度から、平成27年度中学入試制度の改革、現行の校内試験制度の整理・統合、生徒指導の改革、部活動の改革、高中祭のさらなる改革などが実施されます。

平成27年度からの実施

平成26年度に一年間をかけて、慎重に検討して実施する改革の一つとして、平成27年度入学の中学校生徒・高等学校生徒に制服、制靴、制鞆などを一新します。その他につきましては、順次発表いたします。

規矩作法 守り尽くして 破るとも
離るとても 本ぞ忘るな
(千 利休)

最後になりましたが、卒業生の皆さまが誇れる本校教育を実現するために、一層のご支援、ご協力をお願いします。